

平成28年度
(第24期)

事業報告書

自 平成28年4月 1日
至 平成29年3月31日



公益財団法人とかち財団

平成 2 8 年度事業報告 目次

1	概況	-----	1
2	食産業支援事業	【公益目的事業 1】 -----	2
	(1) 検査分析事業	-----	2
	(2) 試験研究事業	-----	2
	(3) 技術指導事業	-----	4
	(4) 人材育成事業	-----	7
	(5) 技術交流事業	-----	8
	(6) 情報提供事業	-----	9
	(7) 指定管理業務	-----	1 0
3	ものづくり産業支援事業	【公益目的事業 2】 -----	1 1
	(1) 企業相談事業	-----	1 1
	(2) 検査分析事業	-----	1 1
	(3) 試験研究事業	-----	1 2
	(4) 情報提供事業	-----	1 3
	(5) 人材養成事業	-----	1 3
	(6) 産学官連携事業	-----	1 4
	(7) 外部資金を活用しての技術支援	-----	1 5
	(8) その他	-----	1 5
4	地域連携支援事業	【公益目的事業 3】 -----	1 7
	(1) 物産振興支援事業	-----	1 7
	(2) 産業連携支援事業	-----	1 8
	(3) 外部資金を活用しての地域連携支援	-----	1 9
5	収益事業	-----	2 0
6	その他の事業	-----	2 0
	(1) ものづくりワンストップ無料相談会	-----	2 0
	(2) 中小企業向け支援制度説明会	-----	2 0
	(3) 視察受入	-----	2 1
	(4) 十勝圏域町村訪問	-----	2 2
7	管理運営事項	-----	2 3
	(1) 理事会	-----	2 3
	(2) 評議員会	-----	2 5
	(3) あり方検討委員会	-----	2 6
	(4) 資産運用委員会	-----	2 7
	(5) 行政特別委員会	-----	2 7
	(6) 十勝産業振興センター運営委員会	-----	2 7

1 概況

経済のグローバル化が進展する一方、人口減少による国内市場の縮小化と競争の激化が進み、十勝地域の産業を取り巻く環境は日々変化を続けている。一方で、十勝地域では産学官金の連携により、地方創生の一環として地域資源を活用した商品開発や事業創発・第二創業への支援、海外販路拡大を視野に入れたアウトバウンド・観光客誘致等にアプローチできるインバウンド対策等の積極的な取り組みが進められている。

こうした状況の中、当財団では、経済情勢の変化や多様化・複雑化する地域ニーズに対し、柔軟・的確かつ迅速に対応できる体制を整備し、主体的な事業展開をさらに推進するため、理事会機能強化の一環として、平成 28 年 6 月に理事長の常勤化を実施した。あわせて、事務局体制の強化として、一体的な産業支援を行うための機構改革や、職員的能力・意欲の向上を目的とした正職員転換制度と人事評価制度の導入について、次年度からの実施を決定した。また、財務基盤の健全化と強化のため、基本財産の運用見直しを行った。

さらに、第 1 期産業活性化ビジョンの目標年次（5 年間）が平成 28 年度をもって終了することから、平成 29 年度から 5 年間の事業推進の基本方向として、「十勝の未来につながる『価値』の創出と向上を目指す～マーケットを意識したものづくり支援～」を根幹目標とする第 2 期ビジョンを策定した。入口から出口までの一貫した産業支援と地域連携の拡大・強化を基本戦略に掲げ、財団が「産業支援プラットフォームとして無くてはならない存在」となるという「財団プライド」を宣言した。

第 1 期ビジョンの最終年度となった平成 28 年度は、これらの大きな動きを踏まえ、「ものづくり支援」と「地域連携支援」を両輪とした事業を展開し、地域産業の活性化に取り組んだ。

食産業支援事業では、検査分析や技術相談等のほか、水の美味しさから食品 PR に繋ぐ「帯広市の水の評価」、海外展開に向けた十勝産加工食品の「賞味期限延長の検討」、「ナチュラルチーズの賞味期限設定に関する評価試験」に基づく評価シートの作成等の試験研究に取り組み、新たな商品の開発や、食品の品質確保・保存性向上等を支援した。また、地域企業の衛生管理体制の整備や HACCP 取得促進等を図るため、ワークショップ形式のセミナーを実施した。

ものづくり産業支援事業では、機械・電子分野における検査分析、技術相談等のほか、現場における省力化に対応した「長いもプランター自動操舵システム」等の農業機械・食品加工機械の開発や、3D-CAD 利活用技術の習得等を支援した。また、地域企業と共同開発した「バウムクーヘンオーブン」「ブロッコリーカッター」を普及するため、東京都で開催された「FOOMA JAPAN（国際食品工業展）」に初出展し、出展製品の海外展開に結び付く等の高い成果が得られた。

地域連携支援事業では、十勝産加工食品等の販路拡大支援を目的として、首都圏で開催された「FOODEX JAPAN（国際食品・飲料展）」に継続出展した。また、産学官交流会「ヒューマンネット十勝」の開催や、十勝ブランド認証機構の運営支援を継続実施した。さらに、外部資金を活用した事業として、地域の関係機関等と連携し、事業創発を図るための人材マッチングプラットフォーム（トカチコネクション）の構築に取り組んだ。

その他、収益事業として、地域企業等からの申込みによる受託事業を受け入れ、地域ニーズに対応した技術開発等を実施した。

2 食産業支援事業 【公益目的事業1】

(1) 検査分析事業

企業等の依頼により食品成分や微生物の検査分析を実施し、公設試験研究機関として成績書を発行した。

表1 (試験分析件数)

年度	試験分析件数	内訳		
		依頼試験	依頼分析	謄本発行
28	37	25	12	0
26	71	46	25	0
24	43	30	13	0

※依頼試験の主なものは、一般生菌数、大腸菌群、耐熱性菌数、真菌数

※依頼分析の主なものは、灰分、水分、タンパク質、脂質、無機質、食物繊維、糖類 等

表2 (市町村別検査分析件数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
7	4	0	0	2	0	10	2	0	12
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 試験研究事業

①共同研究等

地場農畜産物の高付加価値化や、食品の品質向上等を図るための試験研究を行った。

表3 (研究テーマ一覧)

テーマ	
1	帯広市の水の客観的評価 (平成 28 年度) 内容：帯広市の水道水が良質であることを実証し、PR するための客観的評価の実施
2	小豆由来の多糖類に関する研究 (平成 28～29 年度) 内容：製餡時に発生する加工副産物の有効活用を目的とした、小豆煮汁中の多糖類の機能性検討
3	ナチュラルチーズの賞味期限設定に関する評価試験 (平成 28 年度) 内容：各種ナチュラルチーズの品質評価指標項目検討と賞味期限設定見本となる評価シートの作成
4	海外展開を見据えた製品の賞味期限延長の検討 (平成 27～28 年度) 内容：海外展開に向けた十勝産加工食品の賞味期限延長と、包材による効果の検討

②外部資金を活用しての試験研究

(地独) 北海道立総合研究機構(代表機関)及び北海道とコンソーシアムを構成して、農林水産省「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」を活用し、良食味の大豆品種育成に向けた成分分析及び品質評価を行った。(継続中)

また、公的機関・団体より、地場産食材の高付加価値化等を目的とする調査研究事業を受託し、品質評価等の業務を行った。

表 4 (受託事業)

委託者	事業・業務名及び内容
農林水産省	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業(平成 26～30 年度) 「北海道産大豆の高品質・安定供給を目指した豆腐・納豆用品種の開発」 (北海道立総合研究機構農業技術研究本部、北海道とのコンソーシアムにより実施) ・内容[当財団の分担業務]:有望系統の食味関連成分等の分析・評価
北海道	道産機能性素材研究開発推進事業委託業務(平成 28 年度) (ノーステック財団、ホーツク財団とのコンソーシアムにより実施) ・内容[当財団の分担業務]:道産機能性素材の発掘に向けた調査検討等
(公財) 日本豆類協会	餡粒子の消化に関する調査研究(平成 28～29 年度) ・内容:雑豆類の加工品における機能性の検討

③研究開発プロジェクトの共同実施

フジッコ株式会社との共同により、十勝の代表的な農産物である大豆の茎や葉に含まれ、血糖値上昇抑制等の効果が期待される機能性素材「大豆ピニトール」の茎葉回収、生産及び活用技術の開発を目的とするプロジェクトを実施した。(継続中)

表 5 (共同実施事業)

プロジェクトの内容
フジッコ株式会社とフードバレーとかち推進協議会の包括連携協定に基づく、 研究開発プロジェクト「大豆ピニトールシロップの生産及び活用技術の開発」の共同実施 実施期間:平成 27～31 年度(5 年間) 目的:十勝産農産物(大豆)の有効活用及び高付加価値化 内容:[1]原料となる大豆茎葉の回収(H28. 09) [2]大豆ピニトール抽出及びシロップ生産試験(春期:H28. 05、秋期:H28. 10)

(3) 技術指導事業

当財団が有する技術やネットワークを活用し食品の衛生管理や新製品開発、課題解決やニーズ等に対応した食品加工に関する技術支援等を行った。

①企業等相談・訪問対応

表 6 (食品加工相談件数)

年度	相談件数	受付方法			原料区分			
		面接	電話	E-mail 等	農産物	畜産物	水産物	その他
28	549	225	240	84	329	131	18	71
26	607	279	219	109	403	130	20	54
24	529	276	184	69	371	118	16	24

※主な相談内容

- 1 加工食品の製造条件の設定、成分分析、物性測定の実施方法
- 2 賞味期限設定の検討

表 7 (市町村別相談件数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
202	34	5	16	10	20	20	50	12	10
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
21	2	34	9	4	23	17	2	7	51

表 8 (現地技術指導件数)

年度	指導件数	原料区分			
		農産物	畜産物	水産物	その他
28	104	63	25	5	11
26	136	82	48	2	4
24	127	89	29	1	8

※主な指導内容

- 1 製造施設及び工程のチェックによる衛生管理上の原因究明
- 2 加工食品の安定製造に向けた条件の検討及び工程の確立

表 9 (市町村別現地技術指導件数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
28	12	2	1	7	4	3	5	2	1
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
5	1	19	2	1	5	1	1	1	3

②講師・アドバイザー派遣

市町村・関係機関等からの要請に応じ、食品加工技術センター職員を専門講師やアドバイザーとして派遣した。

表 10（講師・アドバイザー派遣）

区分	派遣日	事業・セミナー	派遣地	派遣研究員
講師	H28. 04. 13	士幌高校 食品加工技術研修会	士幌町	川原美香 佐々木香子
講師	H28. 06. 07	北海道立農業大学校 畑作園芸経営学科講義 「農畜産加工起業概論」	本別町	佐々木香子
講師	H28. 06. 13	北海道立農業大学校 畜産経営学科講義 「農畜産加工起業概論」	本別町	佐々木香子
講師	H28. 10. 03 ～H28. 10. 05	帯広地域雇用創出促進協議会 「チーズ加工技術講座」	帯広市	葛西大介
講師	H28. 10. 03、 H28. 10. 06～07	帯広地域雇用創出促進協議会 「ハム・ソーセージ加工技術講座」	帯広市	葛西大介 佐々木香子
講師	H28. 11. 01	北海道立農業大学校 畜産経営学科講義 「農畜産加工流通論」	本別町	佐々木香子
講師	H29. 03. 14	平成 28 年度十勝農学談話会講演会 「小豆煮汁由来の色素成分を活用した製品の開発」	帯広市	佐々木香子
講師	H29. 03. 28	北海道中小企業家同友会とかち支部 十勝農商工連携部会 食品加工研修会 「食品加工の落とし穴」	帯広市	四宮紀之
アドバイザー	H29. 01. 31	平成 28 年度鹿追町地域力創造事業費助成 ものづくり事業審査委員会（第 1 回）	鹿追町	葛西大介

③技術指導により商品化に繋がった支援成果（一例）



「ビーフ・トパ」

山中牧場（帯広市）



「ちゅ〜ちゅ〜ソフト」

十勝とくさ牧場 ぬくもりカフェ（鹿追町）



「十勝ポップコーン」

前田農産食品合資会社（本別町）

(4) 人材育成事業

衛生管理、新事業展開等に関する専門性の高いセミナー・講演会を開催したほか、技術者の資質向上を図るために研修生を受け入れ、技術習得を支援した。

表 11 (セミナー等開催実績)

開催日	開催場所	テーマ	講師	受講者数
H28. 05. 10、12	食品加工技術センター	実践、微生物検査の基礎 (初級編)	川原美香	6
H28. 05. 16、18	食品加工技術センター	実践、微生物検査の基礎 (初級編)	川原美香	8
H28. 05. 24、26	食品加工技術センター	実践、微生物検査の基礎 (中級編)	川原美香	8
H28. 07. 21	十勝産業振興センター	最新の分析計測機器セミナー (株式会社津製作所ほか2社との共催)	株式会社津製作所 横尾 豊氏 ほか2名	22
H28. 07. 28	十勝産業振興センター	移動食品加工研究センターin 帯広 (北海道立総合研究機構食品加工研究センター、十勝総合振興局との共催)	ライオンハイジーン(株) 菅原 幸彦氏 ほか4名	34

表 12 (技術研修生受入実績)

受入期間	研修内容	受入人数
H28. 04. 05～H28. 04. 08、H28. 04. 19～H28. 04. 26	JICA「畜産衛生コース」研修生受入	7
H28. 05. 23～H28. 05. 27	肉製品加工技術の習得	1
H28. 05. 24	乳製品製造加工技術の習得	1
H28. 11. 14～H28. 11. 15	豆腐製造に係る技術の習得	1
H28. 11. 30、H28. 12. 02	JICA「畜産物の衛生管理・品質管理」研修生受入	8
H29. 03. 09	JICA 2016年度キルギス国別研修 「農産品流通」研修生受入	10

表 13 (十勝圏ナチュラルチーズ品質管理研究会の開催)

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
H28. 10. 18	食品加工技術センター	ナチュラルチーズのマーケティングに関する勉強会及び意見交換 テーマ：チーズ市場の現状 講師：NPO 法人チーズプロフェッショナル協会 専務理事 榊田 規夫 氏	14
H29. 03. 08	食品加工技術センター	ナチュラルチーズの製造に関する情報提供 テーマ：十勝品質事業協同組合の共同熟成庫の取り組み 情報提供者：十勝品質事業協同組合 常務理事 下里 洋司 氏 理事 宮嶋 望 氏 製造担当 寺尾 智也 氏	11

表 14 (HACCP ワークショップの開催)

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
H28. 06. 16 H28. 07. 29 H28. 08. 29 H28. 10. 12	食品加工技術センター	【導入編】 (全 4 回) [内容] HACCP 導入または基礎的な衛生管理体制を整備したい事業者を対象として、現場で即活用可能な衛生管理に関する書類の作成方法等をワークショップ形式で学習する。 [講師] ・帯広畜産大学 地域連携推進センター 特任教授 渡辺 信吾 氏 人材育成マネージャー 藤倉 雄司 氏 ・北海道帯広保健所 技術主幹 通山 志保 氏 ・研究開発課 課長 川原 美香	24 事業所 35 名
H28. 11. 18 H28. 11. 25 H28. 12. 09 H28. 12. 16 H29. 01. 13 H29. 01. 20	食品加工技術センター	【実践編】 (全 6 回) [内容] 今後、早急に HACCP を導入したいと考えている事業者、HACCP についてさらに理解を深めたい事業者等を対象として、北海道 HACCP 取得に必要な書類の作成方法等をワークショップ形式で学習する。 [講師] 導入編に同じ (4 名)	14 事業所 15 名

(5) 技術交流事業

十勝圏域で食品加工や商品開発、品質管理に携わる経営者や技術者間の交流を促進するとともに技術課題解決や新製品・新技術開発を図るための研究会を開催した。

また、当財団が実施・支援する地域連携支援事業に研究員が参加し、技術情報提供のほか、加工食品の評価・検査等を実施した。

表 15 (十勝圏地域食品加工技術者の会の開催)

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
H28. 12. 09	十勝おばんざい天空 (帯広市)	技術者の会の今後の方針について など	9
H29. 01. 21	とかち館	十勝ブランド学べる大試食会 参加	5

表 16 (財団主催・共催事業への研究員の参加実績)

実施・支援事業	開催日	開催場所	内容
十勝ブランド認証機構	H28. 06. 02	十勝産業振興センター	認証品に係る官能検査
	H28. 11. 22	十勝産業振興センター	認証品に係る官能検査
	H29. 01. 21	とかち館	十勝ブランド学べる大試食会
ヒューマンネット十勝	H28. 07. 07	帯広畜産大学	経営者・技術者間の交流促進及び技術情報の提供等
	H28. 10. 06	共働学舎新得農場ほか	
	H28. 12. 08	くさなぎ農園ほか	
	H29. 02. 16	音更町	

実施・支援事業	開催日	開催場所	内容
スクラム十勝 シンポジウム2016	H28. 10. 28	帯広畜産大学	事業実施成果発表 テーマ：これからの食品衛生と地域支援 発表者：研究開発課 課長 川原美香

(6) 情報提供事業（情報提供・成果普及・PR等）

研究開発事例や技術相談対応など技術支援成果を発表するとともに、ホームページ等により技術情報や事業内容・活動実績の積極的なPRを行った。

表 17（成果発表会の開催）

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
H29. 03. 02	十勝産業振興センター	平成 28 年度成果発表会（試験研究に係る成果発表等）	112



平成 28 年度成果発表会



成果発表会展示ブース

表 18（セミナー等での発表）

開催日	開催場所	開催内容
H28. 04. 27	東京ドームホテル札幌	道総研食品加工研究センター成果発表会における当財団の取組発表

表 19（ホームページの公開・運営）

区分	公開内容
食品加工技術センター	施設概要、業務内容、事業報告、研究発表成果、設備機器、各種書式のダウンロード等
十勝の食材データベース	十勝圏域の業務用食材の取扱い企業の紹介

表 20（専門誌への寄稿）

掲載号	掲載誌等の名称	寄稿テーマ名・寄稿者
9月号 (Vol. 63)	日本食品科学工学会誌 〔（公社）日本食品科学工学会〕	テーマ：ベタイン添加食パン生地の製パン性の改善 寄稿者：事業部長 葛西大介
Vol. 20 DEC. 2016	ルミナコイド研究 〔（一社）日本食物繊維学会〕	「イヌリン・ホエイ混合物が便秘傾向を有する 健康成人男女の排便状態および腸内細菌叢に及ぼす影響」 寄稿者：事業部長 葛西大介 プロジェクト推進課 副主任 梅沢 晃 研究開発課 係長 佐々木香子

（７）指定管理業務

地域における食品加工技術の高度化を促進し、北海道の食品加工業の発展に寄与することを目的として設置された北海道立十勝圏地域食品加工技術センターの指定管理者として、施設の適切な保守管理を行い、施設等の情報提供や設備機器の利用促進活動を実施し、利用者へのサービス向上を図った。

表 21（施設利用件数）

年度	利用件数	内訳	
		機器等	研修室
28	365	358	7
26	266	262	4
24	258	256	2

表 22（施設利用時間）

年度	利用時間	内訳	
		機器等	研修室
28	1,169	1,128	41
26	979	969	10
24	482	478	4

表 23（市町村別施設利用件数）

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
144	39	0	0	0	15	7	81	0	0
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
0	0	19	54	6	0	0	0	0	0

3 ものづくり産業支援事業 【公益目的事業2】

(1) 企業相談事業

当財団が有する技術やネットワークを活用し、技術提供や技術開発、コーディネート等企業等の問題解決やニーズ等に対応したもののづくり支援を行った。

表 24 (企業相談件数)

年度	相談件数	内訳					
		技術関係	知財関係	受発注関係	創業関係	経営関係	その他
28	436	265	41	24	2	7	97
26	252	120	6	16	3	5	102
24	339	233	24	8	4	6	64

表 25 (市町村別相談件数)

帯広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
227	14	5	0	3	5	2	67	18	1
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	その他
0	0	17	0	0	6	0	0	0	71

(2) 検査分析事業

企業等から鉄筋やコンクリートの強度試験やパークゴルフ用品等の試験依頼を受け、公的な試験成績証明書を発行するとともに、企業等の製品開発や品質管理等を行うために設備機器の利用促進を図った。

表 26 (検査分析件数)

年度	検査分析件数	内訳		
		引張強度試験	圧縮試験	パークゴルフ用品
28	381	166	40	175
26	591	217	64	310
24	641	387	108	146

表 27 (設備機器利用件数等)

年度	利用件数	利用時間
28	208	4,538
26	195	1,704
24	146	462

(3) 試験研究事業

企業ニーズに対応したテーマによる研究開発を実施するとともに、外部資金を活用し、地域企業等との連携・共同による製品開発に取り組んだ。

①共同研究等

表 28 (研究テーマ一覧)

テーマ	
1	低コストな血乳検査システムの開発 (平成 28 年度) 内容：血乳混入量を迅速かつ低コストで測定可能な携帯型検査装置の開発
2	バウムクーヘンオープンの開発と販路開拓 (平成 28 年度) 内容：2 芯タイプの新型バウムクーヘンオープンの開発、ならびに展示会出展等による販路開拓
3	低コストな自動操舵システムの開発 (平成 28 年度) 内容：立植え式長いもプランターの畝列追従制御装置の開発と試作機製作



携帯型血乳検査装置



立植え式長いもプランター及び畝列追従制御装置 (左上)

②外部資金を活用しての試験研究

表 29（助成金の活用）

助成事業者	事業名・テーマ名	
(公財) 北海道中小企業 総合支援センター	北海道中小企業応援ファンド事業（平成 27～28 年度）	
	1	「中規模事業所向けコンパクト型バウムクーヘンオープンの 開発と販路拡大」
	2	「大径玉ブロッコリー用カッターの開発と販路拡大」
(公財) 日本豆類協会	豆類振興事業（試験研究）（平成 28～30 年度） 「インゲンマメゾウムシ寄生子実選別用光学選別装置の開発」	

（４）情報提供事業

ホームページや「十勝産業振興センターだより」の配信、各種セミナー等において財団の研究成果や技術情報等の提供を行った。

表 30（情報提供の状況）

区分	内容
発表	H28. 06. 01 道総研工業試験場成果発表会における当財団の取組発表（ポスター展示等）
発表	H28. 11. 28 産業技術連携推進会議 北海道地域部会 合同分科会における当財団の取組発表（口頭発表）
発表	H29. 03. 02 とかち財団平成 28 年度成果発表会（試験研究に係る成果発表等）
配信	十勝産業振興センターだより第 58 号～第 69 号を道内 853 件配信
公開・運営	十勝産業振興センターホームページ（業務内容、事業報告、研究発表成果、設備機器、各種書式等）

（５）人材養成事業

技術者の資質向上や機械製品開発ツールの利活用促進等を図るため、3 次元 CAD や 3D プリンタに関する技術講習会やセミナーを開催した。また、マイコン内蔵周辺機器の理解と応用プログラミング、および 2 次元 CAD の操作技能習得を目的としたオンデマンド型の講習会を開催した。

表 31（講習会開催）

※参入促進支援事業（表 35）の一環として、ノーステック財団との共催にて実施

講習会名	開催日	受講者数	備考
「3 次元 CAD」講習会	H28. 06. 15～H28. 09. 28	6	導入編
	H28. 06. 28～H28. 10. 04	6	導入編
	H28. 11. 15～H29. 02. 21 (※)	5	応用編
	H28. 12. 01～H29. 03. 16 (※)	5	導入編
「2D-CAD」講習会	H28. 04. 12～H28. 04. 13	1	オンデマンド型講習会
「マイコン」講習会	H28. 12. 21～H29. 03. 24	1	オンデマンド型講習会

（６）産学官連携事業

展示会出展等によるものづくりを中心とした企業支援成果の紹介・普及や、各種委員会への参加等の活動を行った。

①展示会への出展

表 32（展示会等への参加）

開催日	開催場所	開催内容
H28. 06. 07～H28. 06. 10	東京ビッグサイト	FOOMA JAPAN 2016（2016 国際食品工業展） 【十勝圏域の食品加工機械製造企業 2 社との共同出展】
H28. 11. 10～H28. 11. 11	アクセスラボ	第 30 回北海道技術・ビジネス交流会「ビジネス EXP02016」



FOOMA JAPAN 2016 出展状況（フロッコリーカッター、バウムクーヘンオーブン）

②委員会等への参加

表 33（委員会等への参加）

開催日	開催場所	開催内容
H28. 06. 21	北海道ビジネスサポートセンター	北海道イノベーション・マネージャー連携促進会 運営委員会
H28. 09. 29～H28. 09. 30	湘南産業振興財団など	北海道イノベーション・マネージャー連携促進会 視察調査
H28. 12. 16、H29. 03. 01	札幌全日空ホテル	一次産業支援ロボット製造企業支援ネットワーク検討会 検討委員会（2 回出席）

(7) 外部資金を活用しての技術支援

北海道の「参入促進支援事業」補助金を活用し、道内産業支援機関との連携により、地域のものづくり企業のニーズに対応した技術開発・課題解決等の支援による食関連機械分野への参入促進や人材育成等に取り組んだ。

表 34 (参入促進支援事業 地域マネージメント事業)

補助元	事業名
北海道	「参入促進支援事業（地域のものづくり技術力向上）」 内容：地域のものづくり企業のニーズに対応した技術開発・課題解決等の支援による、食関連機械分野への参入促進及び雇用創出 期間：平成 28～30 年度

表 35 (参入促進支援事業 人材育成セミナー)

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
H28. 10. 21	十勝産業振興センター	「これを知れば企業が変わる！生産現場改善セミナー」 演題：ものづくり現場からの提言 ～事例で学ぶ本質的カイゼン、事業開発・再建・心構え～ 講師：MC フードスペシャリティーズ㈱ 常務執行役員 生産統括本部長 狩野 住夫 氏 (ノーステック財団との共催／協力：フードバレーとかち推進協議会)	40

(8) その他

十勝産業振興センターの利用促進を図ったほか、機械製品開発ツール（3D プリンタ、CAE ツール等）の利用促進・保守管理業務を行った。

①機械製品開発ツールの利用促進・保守管理等

表 36 (十勝地域機械製品開発ツール普及促進事業)

依頼者	内容	ツール利用件数
帯広市	3D プリンタ・CAE ツール等の利活用促進・保守管理等	17

②会議室等利用実績

表 37 (会議室等利用件数)

年度	利用件数	内訳		
		大会議室	中会議室	共同研究室
28	586	244	203	139
26	662	275	211	176
24	514	204	163	147

表 38（会議室等利用人数）

年度	利用人数	内訳		
		大会議室	中会議室	共同研究室
28	22,182	13,817	7,109	1,256
26	19,663	13,294	4,996	1,373
24	16,302	10,479	4,853	970

4 地域連携支援事業 【公益目的事業3】

(1) 物産振興支援事業

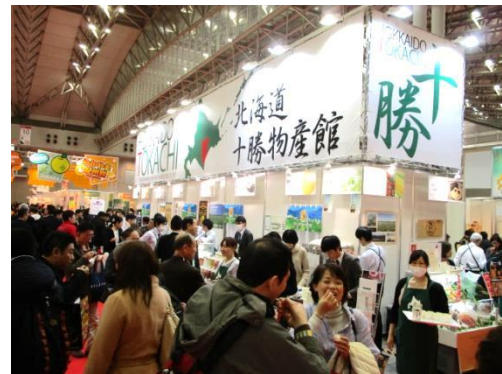
十勝産の農畜水産物並びに加工品の販路拡大を目的とした販売 PR 事業を実施した。

表 39 (出展事業)

展示会名等	期間	出展者数
アグリフード EXPO 東京 2016	H28. 08. 18～H28. 08. 19	5 社出展
FOODEX JAPAN 2017 (第 42 回国際食品・飲料展)	H29. 03. 07～H29. 03. 10	20 社・団体出展



アグリフード EXPO 東京 2016 出展



FOODEX JAPAN 2017 北海道十勝物産館 出展

表 40 (参画及び協力事業)

会議・事業名	協力内容
とにかち帯広空港における経営改革に関する検討会	委員
とにかち観光誘致空港利用推進協議会	委員
とにかちマルシェ推進協議会	委員
My とにかち推進会議	委員
十勝ファームツーリズム等推進協議会	委員
十勝売り込み隊(太陽のマルシェ)実行委員会	委員
とにかち食推進会議	参画
十勝食育推進会議	参画
道東道とにかち連携協議会	参画
食と農の景勝地・十勝協議会(H28.05入会(3号会員))	参画
十勝海外展開連絡会議	参画
十勝ブランド強化支援事業	協力・後援
第22回とにかち大収穫市	後援
富士山・東北海道広域ビジネスマッチング「食&農」こだわりの逸品展示会	後援
帯広市産業振興会議	オブザーバー

(2) 産業連携支援事業

十勝型産業クラスターの形成を図るため、企業・関係機関等の交流機会の拡大に努めたほか、十勝ブランド認証機構の事務局として、十勝ブランド確立に向けた各種事業を行った。

表 41 (産学官交流会・ヒューマンネット十勝開催状況)

回数	開催日	開催場所	テーマ	参加人数
第 58 回	H28. 07. 07	帯広畜産大学	「畜大」	81
第 59 回	H28. 10. 06	(株)十勝野フーズ、(株)明治 十勝工場 (農事) 共働学舎新得農場	「十勝のチーズ」	62
第 60 回	H28. 12. 08	(有)くさなぎ農園、十勝産業振興センター	「十勝のたまご」	65
第 61 回	H29. 02. 16	十勝品質事業協同組合、柳月等	「音更町」	58



第 58 回 帯広畜産大学 交流会



第 59 回 共働学舎新得農場 見学

表 42 (十勝ブランド認証状況)

[平成 29 年 3 月末日現在]

品目	工房数	品目数
ナチュラルチーズ	5	3 6
パ ン	1 3	4 1
菓 子	8	1 6
乳製品	1 1	3 5
合 計	3 2 工房 (5 工房重複)	1 2 8 品目

表 43 (十勝ブランド管理運営状況)

管理項目	実施内容
会議開催	幹事会 (H28. 05. 16、H28. 11. 17) 2 回、支援委員会 (H28. 05. 24) 1 回
	定期総会 (H28. 06. 04)
	4 部会合同部会 (H28. 12. 01、H29. 01. 17) 2 回
認証検査	第 1 回 H28. 06. 02、第 2 回 H28. 11. 22

表 44（十勝ブランド付加価値向上事業）

事業名	内容
パンフレット改訂、配布	13,000 部 H28. 07 より配布

表 45（十勝ブランド販促 PR 事業）

事業名	内容
ホームページ、認証シール	運営及び更新、配布
十勝ブランド・スタンプラリー	期間：H28. 07. 16～H28. 10. 30 32 工房・35 店舗参加
とかちマルシェ	H28. 09. 03～H28. 09. 04 開催 11 工房出展
関係機関に対するチーズ斡旋販売	H28. 09（4 工房参加）
十勝ブランド 学べる大試食会	H29. 01. 21 会場：とかち館 26 工房参加、一般参加者 203 名
その他の事業・取り組み等	「食と農の景勝地・十勝協議会」への入会 H28. 05
	標津町産業クラスター創造研究会への講師派遣対応 H28. 11. 14
	くしろ応援ファンド活用事業選定委員会出席 H28. 12. 20

（3）外部資金を活用しての地域連携支援

帯広市ほか9町村からの負担金を受け、十勝・イノベーション・エコシステム推進事業の一環として、圏域の関係機関等と連携し、「トカチコネクション」構築に関する事業に取り組んだ。

表 46（トカチコネクション）

事業名および内容
「トカチコネクション」構築に関する事業 [事業費：帯広市ほか9町村からの負担金] 実施期間：平成 28～29 年度 内容：地域の事業創発を図るための人材マッチングプラットフォーム構築 （十勝圏域の金融機関・産業支援機関等との連携により事業を実施する）

5 収益事業

企業等からの申し込みによる受託事業を行った。

表 47（収益事業一覧）

内容	
1	ラクレットチーズの品質安定化調査
2	バターカッター制御装置の開発
3	水道水評価委託業務
4	雑豆を原料としたグラノーラの開発に関する検査分析
5	自動操舵装置の試作開発

6 その他の事業

帯広信用金庫、帯広畜産大学、とかち財団の共催により、ものづくりにおける相談・技術支援等に迅速に対応することを目的に無料相談会を実施したほか、北海道経済産業局との共催により、中小企業向け支援制度説明会を実施した。また、十勝圏域内外からの視察を受入した。

（１）ものづくりワンストップ無料相談会

表 48（開催実績）

開催日	相談対応職員	共催
H28. 06. 28	四宮紀之	帯広信用金庫・帯広畜産大学・とかち財団
H28. 09. 27	四宮紀之	
H28. 12. 09	四宮紀之	
H29. 03. 15	四宮紀之	

（２）中小企業向け支援制度説明会

表 49（開催実績）

開催日	内容	共催
H28. 12. 15	ものづくり補助金等中小企業向け支援制度説明会	経済産業省 北海道経済産業局

(3) 視察受入

表 50 (視察団体、内容等)

受入日		団体名等	内容	人数
1	H28. 07. 19	士幌町高齢者生きがい事業団	とかち財団の取組について	40
2	H28. 07. 25	北海道大学、(独)農畜産業振興機構	地域ブランドの取組について	3
3	H28. 08. 03	ホクレン中斜里製糖工場	食品加工技術センターの取組について	17
4	H28. 08. 26	帯広コア専門学校	食品加工技術センターの取組について	8
5	H28. 08. 29	JICA 研修員	とかち財団の取組について	16
6	H28. 09. 02	熊本県農林水産部い業研究所	とかち財団の取組について	2
7	H28. 09. 05	JICA 研修員	とかち財団の取組について	12
8	H28. 09. 26	帯広工業高等学校	とかち財団の取組について	42
9	H28. 09. 26	帯広畜産大学	食品加工技術センターの取組について	57
10	H28. 10. 14	JICA 研修員	とかち財団の取組について	14
11	H28. 10. 21	JICA 研修員	とかち財団の取組について	6
12	H28. 11. 17	北海道中小企業家同友会とかち支部	食品加工技術センターの取組について	10
13	H28. 11. 24	JICA 研修員	とかち財団の取組について	21
14	H28. 12. 20	NPO 法人十勝障害者サポートネット	食品加工技術センターの取組について	15
15	H29. 01. 30	JICA 研修員	食品加工技術センターの取組について	19
16	H29. 01. 30	沖縄県庁、(株)沖縄 TLO	地域ブランドの取組について	4
17	H29. 02. 21	北海道経済連合会	とかち財団の取組について	3
18	H29. 02. 21	(独)中小企業基盤整備機構	地域ブランドの取組について	2
合計 18 件				291

(4) 十勝圏域町村訪問

表 51 (町村訪問実績)

年月日	訪問先
H28. 06. 24	本別町：本別町役場
H28. 07. 08	陸別町：陸別町役場、JA 陸別町、陸別町商工会、金融機関 1
	足寄町：足寄町役場、JA 足寄町、足寄町商工会、金融機関 2
	本別町：JA 本別町、本別町商工会、金融機関 2
	池田町：池田町役場、JA 十勝池田町、JA 十勝高島、金融機関 1
	幕別町：幕別町役場、JA 幕別町、幕別町商工会、金融機関 2
H28. 07. 14	音更町：音更町役場、JA 音更町、JA 木野、音更町商工会、金融機関 4 家畜改良センター十勝牧場
	上士幌町：上士幌町役場、JA 上士幌町、上士幌町商工会、金融機関 1
	士幌町：士幌町役場、JA 士幌町、士幌町商工会、金融機関 1
	鹿追町：鹿追町役場、JA 鹿追町、鹿追町商工会、金融機関 1
H28. 07. 20	浦幌町：浦幌町役場、JA 浦幌町、浦幌町商工会、金融機関 1
	豊頃町：豊頃町役場、JA 豊頃町、大津漁協、豊頃町商工会、金融機関 1
	幕別町：JA 札内
H28. 07. 21	芽室町：芽室町役場、JA 芽室町、芽室町商工会、金融機関 2 道総研十勝農業試験場、農研機構北海道農業研究センター芽室研究拠点
	清水町：清水町役場、JA 十勝清水町、清水町商工会、金融機関 3
	新得町：新得町役場、JA 新得町、新得町商工会、金融機関 1、道総研畜産試験場
H28. 07. 22	広尾町：広尾町役場、JA 広尾町、広尾町商工会、金融機関 2
	大樹町：大樹町役場、JA 大樹町、大樹町商工会、金融機関 1
	幕別町：JA 忠類
	更別村：更別村役場、JA 更別村、更別村商工会
	中札内村：中札内村役場、JA 中札内村、中札内村商工会、金融機関 1

7 管理運営事項

(1) 理事会

①第1回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成28年4月1日（金）
審議事項	1. 理事候補者の件 2. 評議員会開催の件 3. 事務局長の件

上記審議事項について可決された。

②第2回

開催日	平成28年6月1日（水）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	9名（理事7名、監事2名）
審議事項	1. 平成27年度事業報告及び決算の承認について 2. 平成28年度事業予算の補正に関する承認について 3. 理事会機能の強化に係る定款等の変更について 4. 次期産業活性化ビジョンの策定について 5. 重要な使用人の職名について 6. 評議員会の開催について
報告事項	1. 理事の選任について 2. 平成28年度事業経過報告について 3. 平成28年度資産運用委員及び資産運用責任者の設定について 4. 給与規則及び契約職員に関する給与規則の一部改正について 5. 事務局長の任命について

上記審議事項等について了承・可決された。

③第3回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成28年6月15日（水）
審議事項	1. 理事長選定の件 2. 副理事長1名増員の件

上記審議事項について可決された。

④第4回

開催日	平成28年11月28日（月）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	8名（理事6名、監事2名）
審議事項	1. 評議員会の開催について
報告事項	1. 平成28年度事業経過報告について 2. 平成28年度事業予算額の変更について 3. 平成28年度資産運用の状況について 4. 次期産業活性化ビジョン策定に係る進捗状況について

上記審議事項等について了承・可決された。

⑤第5回

開催日	平成29年2月27日（月）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	10名（理事9名、監事1名）
審議事項	1. 第2期産業活性化ビジョン策定について 2. 事務局組織規則の改正について 3. 正職員転換制度の導入について 4. 人事評価制度の導入について 5. 平成29年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 6. 理事・監事・評議員の選考委員について 7. 評議員会の開催について
報告事項	1. 評議員の選任結果について 2. 資産の運用状況について 3. 規則の改正について 4. 平成28年度収支予算の変更及び平成28年度決算見込について

上記審議事項1を除き、了承・可決された。

⑥第6回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成29年3月10日（金）
審議事項	1. 第2期産業活性化ビジョン策定の件

上記審議事項について可決された。

⑦第7回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成29年3月31日（金）
審議事項	1. 評議員会開催の件 2. 事務局長任免の件

上記審議事項について可決された。

(2) 評議員会

①第1回（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成28年5月2日（月）
審議事項	1. 理事選任の件

上記審議事項について可決された。

②第2回

開催日	平成28年6月15日（水）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	8名
審議事項	1. 平成27年度事業報告及び決算の承認について 2. 理事会機能の強化に係る定款等の変更について
報告事項	1. 理事の選任及び事務局長の任命について 2. 平成28年度事業経過報告について 3. 平成28年度資産運用委員及び資産運用責任者の設定について 4. 給与規則及び契約職員に関する給与規則の一部改正について 5. 平成28年度事業予算の補正について 6. 次期産業活性化ビジョンの策定について 7. 重要な使用人の職名について

上記審議事項等について了承・可決された。

③第3回

開催日	平成28年12月16日（金）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	8名
審議事項	1. 評議員の選任について
報告事項	1. 平成28年度事業経過報告について 2. 平成28年度事業予算額の変更について 3. 平成28年度資産の運用状況について 4. 次期産業活性化ビジョン策定に係る進捗状況について

上記審議事項等について了承・可決された。

④第4回

開催日	平成 29 年 3 月 14 日（火）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	8 名
審議事項	1. 理事・監事・評議員の選考委員について
報告事項	1. 資産の運用状況について 2. 第 2 期産業活性化ビジョン策定について 3. 事務局組織規則の改正について 4. 正職員転換制度の導入について 5. 人事評価制度の導入について 6. 平成 29 年度事業計画及び収支予算について

上記審議事項等について了承・可決された。

（３）あり方検討委員会

①第1回

開催日	平成 28 年 9 月 12 日（月）
開催場所	十勝産業振興センター 中会議室
出席者	6 名
検討事項	1. 次期「産業活性化ビジョン」の策定について ・現ビジョンの検証内容について ほか

上記検討事項等について事務局から説明がなされ、取扱い等について検討を行った。

②第2回

開催日	平成 28 年 11 月 4 日（金）
開催場所	十勝産業振興センター 中会議室
出席者	5 名
検討事項	1. 次期「産業活性化ビジョン」の策定について ・次期ビジョンの構成イメージ（素案）について ほか

上記検討事項等について事務局から説明がなされ、取扱い等について検討を行った。

③第3回

開催日	平成 29 年 1 月 30 日（月）
開催場所	十勝産業振興センター 中会議室
出席者	4 名
検討事項	1. 次期「産業活性化ビジョン」の策定について ・成案化（最終案の確定）に関する協議 ほか

上記検討事項等について事務局から説明がなされ、取扱い等について検討を行った。

(4) 資産運用委員会

①第1回

開催日	平成 28 年 8 月 23 日 (火)
開催場所	十勝産業振興センター 中会議室
出席者	4 名
協議事項	1. 資産運用見直しに関する判断基準と注意事項 (案) について 2. 今後の資産運用について (案)

上記事項等について事務局から説明がなされ、運用に関する検討を行った。

②第2回

開催日	平成 29 年 1 月 23 日 (月)
開催場所	十勝産業振興センター 中会議室
出席者	3 名
協議事項	1. 今後の資産運用について 2. 資産運用方針の検討 3. 資産運用委員会設置要綱の改正について

上記事項等について事務局から説明がなされ、運用に関する検討を行った。

(5) 行政特別委員会

開催日	平成 29 年 1 月 26 日 (木)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	18 名
協議事項	1. 平成 28 年度事業経過報告について 2. 第 2 期産業活性化ビジョンについて 3. 平成 29 年度事業計画 (素案) について 4. 基本財産の状況及び平成 29 年度運営負担金について

上記事項等について了承された。

(6) 十勝産業振興センター運営委員会

開催日	平成 29 年 1 月 26 日 (木)
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	14 名
協議事項	1. 平成 28 年度事業実施状況について 2. 第 2 期産業活性化ビジョンについて 3. 平成 29 年度事業計画 (素案) について 4. 委員会の今後の方向性について

上記事項等について了承された。

以 上